

研究テーマ「家庭地域と連携した道徳教育の創造」

研究課題 「児童生徒が地域に目を向け、その成員としてよりよい社会の形成に主体的に参画しようとする態度を育てる」

呉市（呉市立阿賀小学校 揚野 恭子）

1 研究テーマ設定の理由

子どもたちは郷土によってはぐくまれてきた文化や伝統にふれる体験を通して、そこに住むことの喜びや愛着が生まれ、地域社会の一員としての自覚が持てるようになり、郷土を大切にする心や態度も培われてくる。また、このような郷土を作り上げてきた人々への尊敬の念や感謝の気持ちも生まれてくる。

子どもたちに、これらの道徳性を育成していく過程を通して、よりよい社会の形成に主体的に参画しようとする態度を育てることで、社会や集団の一員として生きていく力がはぐくまれると考える。そして、この課題達成のためには、家庭・地域の教育力を生かし連携していくことでより効果的に進められると考え、本研究テーマを設定した。

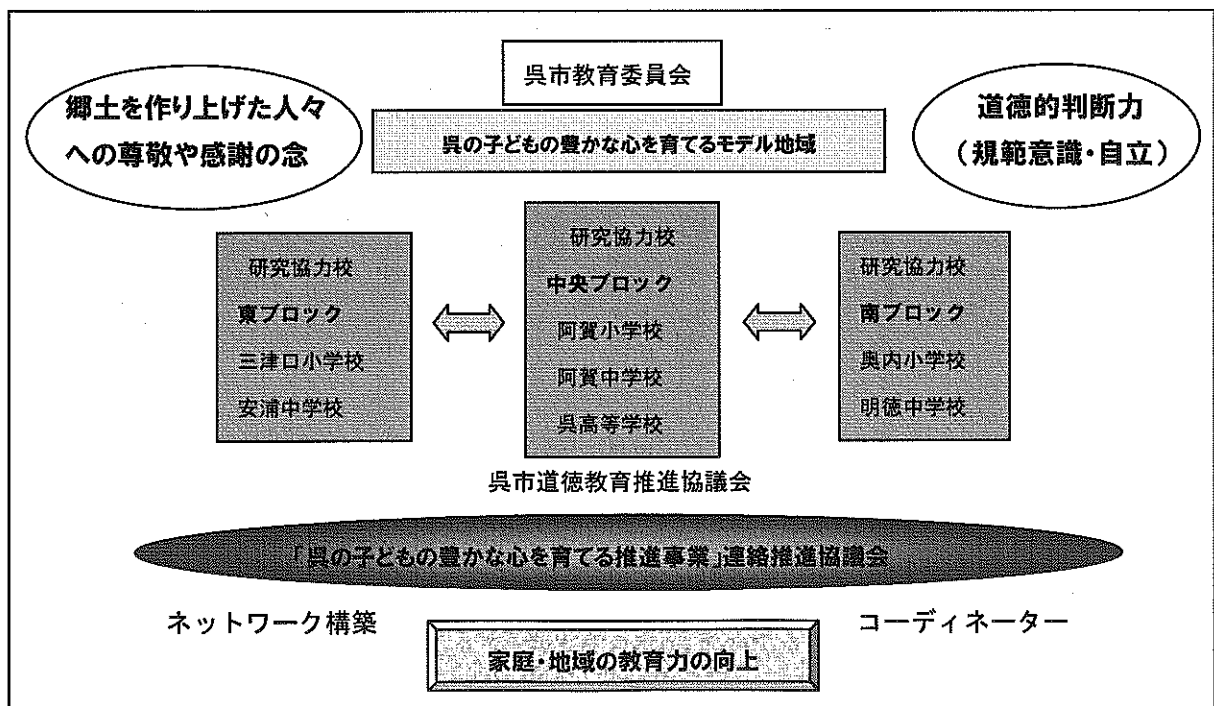
2 研究の特色、特に目指したこととその手立て

(1) 具体的な研究課題

- ① 他の教育活動との有機的関連を図り、**地域文化を取り込んだ学習の創造等**を通して、地域の成員としての自覚を高める。
- ② 自由参観日を設け、コーディネーターを活かし、**学校・保護者・地域が一体**となった道徳教育の実践を図る。
- ③ 地域の拠点校として他の**小・中学校と連携**し、道徳的判断力を養う。
- ④ コーディネーター機能の充実を図る。

(2) 研究の進め方

呉市を3ブロックに分けて研究の推進・波及を図る。



(3) 具体的実践

① 地域文化を取り込んだ学習活動の創造

- ア 教材開発...地域の伝統行事を資料化
「阿賀の御漕船」「音戸の舟歌」「御座船にのって」
- イ 地域と密着した体験活動
「もちつき大会」「昔からの遊びをしよう」
「小中合同クリーン作戦」「道徳週間」
- ウ ボランティア活動
「お花ボランティアと委員会活動」「チョコボラ活動」



② 学校・保護者・地域が一体となった道徳教育の推進

- ア ゲストティーチャーを招いての授業実践
家庭・地域の方の授業参加
- イ ポスターの作製と掲示依頼
- ウ 学校便り・道徳通信の発行



③ 小中連携

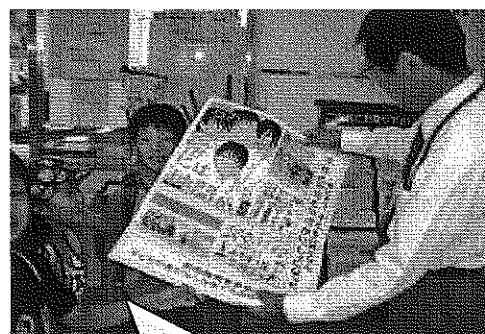
- ア 小中で共通の重点目標の設定（小中一貫教育）
- イ 小中での合同研修・授業参観での連携
 - ・授業交流（小←→中）
 - ・同じゲストティーチャーを招いて

④ コーディネーター機能の充実

- ・資料の共同開発
- ・ゲストティーチャーとの連絡・連携
- ・コーディネーターがもつ技術の活用

⑤ その他

- ア 道徳教育推進フォーラムの開催
（小・中・高校合同での研究会）
 - ・中央ブロック…授業提案， 南部・東部ブロック…分科会提案
- イ 実践事例集の発行
 - ・研究成果を呉市全体に広げていく



3 研究の評価

- (1) 地域の文化を資料化したり，地域の方との体験活動を取り入れたりしたことで児童生徒の地域への愛着が高まってきている。
- (2) 「道徳参観日」や，保護者や地域の方をゲストティーチャーに招いた「道徳の時間」を数多く実践することで，学校が進めている道徳教育に理解を得ることができ，家庭・地域と連携した道徳教育を展開することができた。
- (3) 近隣の小学校や中学校と共通の課題を設定し授業研究を行うなど，連携して合同研修を実施することができた。
- (4) コーディネーターの協力を得ることで，「地域人材リスト」の作成やゲストティーチャーへの連携・調整を容易にすることができ，地域の教育力を効果的に活用することができた。